

# 魅力的になるための気配り

「おしゃれ白書 '94」

「おしゃれ白書 '91」より

現在は「衣服」「ヘアスタイル」「素肌の美しさ」



すぐ実現できること  
外面的なこと

将来的には「知識・教養」「話し方」「動作・立居振舞」



すぐには身につかないこと  
内面を磨くこと



理想的には外面と内面のバランスの取れた魅力づくり？

1995/06/15

ポーラ文化研究所

担当 村澤博人 高谷誠一

## 1.はじめに

「魅力的な人はどんな人」と聞かれたら何と答えるだろうか？ だれだれ、と映画俳優や歌手の名前を直接言う人もいるに違いない。「おしゃべりが上手な人」「髪の毛の長い人」と抽象的に言う人もいるだろう。答えは人によりさまざまだと思われるが、自分の魅力は？となるとどんな回答になるのだろうか。

ポラ文化研究所では、人それぞれがもつ魅力に注目して調査研究活動を行なってきた。今回はこの「自分の魅力」にスポットを当てて、1991年と1994年の調査データより「女性のもつ魅力観」をご紹介しますことにした。

## 2.目的

調査データ「おしゃれ白書`91」「おしゃれ白書`94」より、「より魅力的になるために、現在どんなことに気を配っているか」と「より魅力的になるために、これから気を配りたいと思うこと」の結果を引き出し、「女性のもつ魅力観」を探る。

回答は以下の15項目より該当するものをいくつでも選択してもらった。

「衣服」「アクセサリー・小物」「下着」「素肌の美しさ」「髪の毛の美しさ」「身体の手入れ」「メイクアップ」「ヘアスタイル」「身体のシェイプアップ」「話し方」「動作・立ち居振舞い」「香り・匂い」「知識・教養」「心の美しさ」「その他か」

## 3.調査概要

「おしゃれ白書`91」「おしゃれ白書`94」の概要は次のようになる。

「おしゃれ白書`94」

調査対象：東京駅を中心とする半径30km圏内に居住する16歳から65歳までの女性1050人

調査対象者抽出法：エリアサンプリング法

調査方法：個別訪問面接聴取法および留置法

調査期間：1994年7月～8月

「おしゃれ白書`91」

調査対象：東京駅を中心とする半径30km圏内に居住する15歳から64歳までの女性1000人

調査対象者抽出法：エリアサンプリング法

調査方法：個別訪問面接聴取法および留置法

調査期間：1991年5月

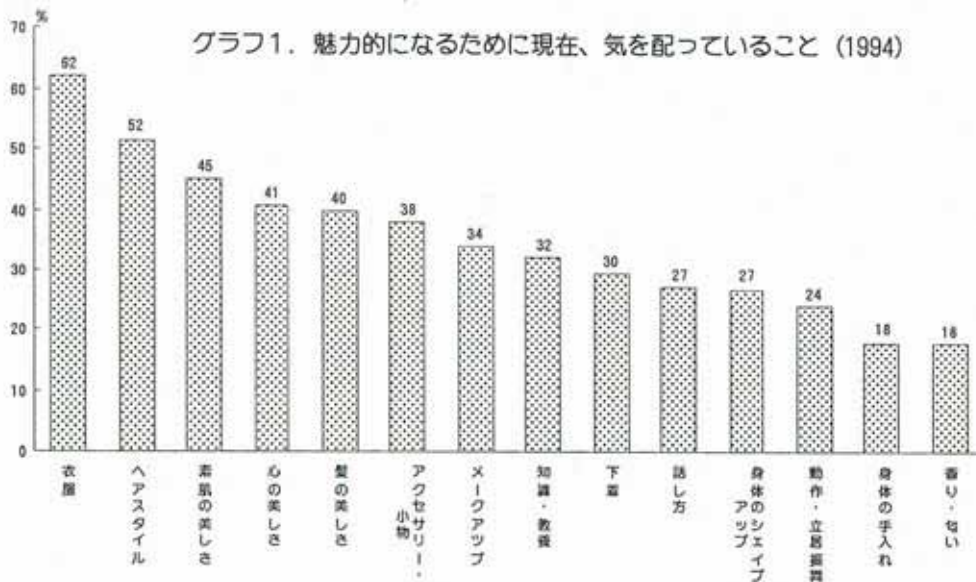
## 4.結果

### 4.1. 「現在」と「これから」の変化

まずは、1994年現在のデータを中心に、「現在」と「これから」の特徴、「現在」と「これから」の違い、3年前との比較、年齢別に見た違い、などを見てみよう。

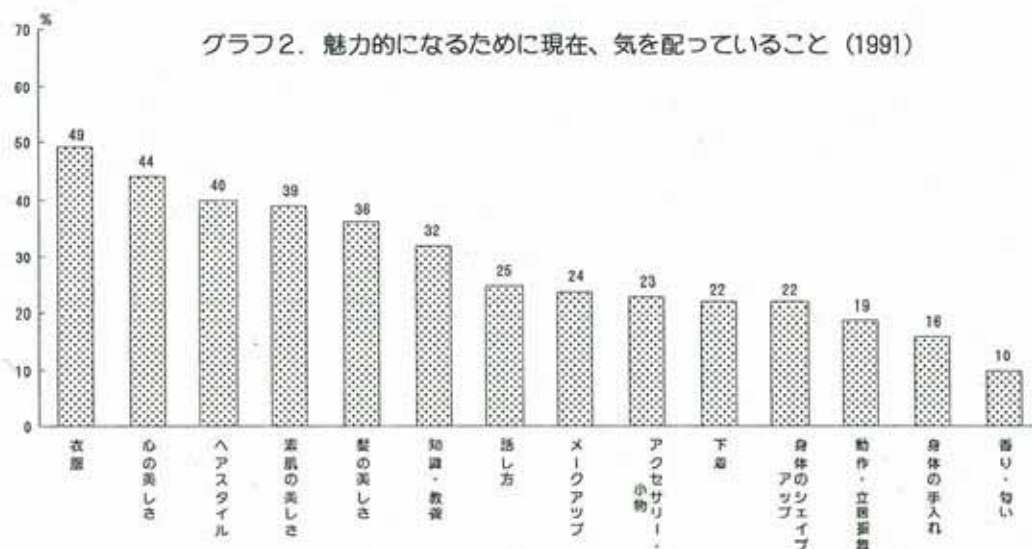
#### 4.1.1. 現在の気配り——外面的な項目が多い

「より魅力的になるために、現在どんなことに気を配っているか」という質問の結果は次のグラフである。

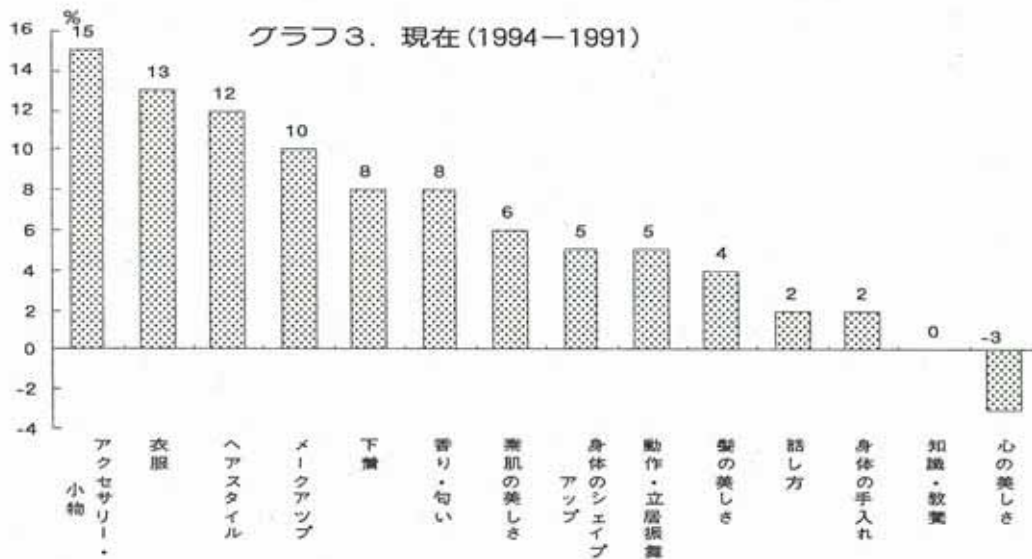


一番支持が多いのは「衣服」で62%。約3人に2人の女性が「衣服」に気を配っている。第2位は「ヘアスタイル」で2人に1人の52%。第3位は「素肌の美しさ」で45%。第4位は「心の美しさ」で41%、ほぼ同率で第5位「髪的美しさ」40%、第6位「アクセサリー・小物」38%、と続く。圧倒的に、外面的で直接見て理解しやすい項目が多い。

次に、3年前の1991年の結果はどうであったらうか。グラフ2.を見てみよう。

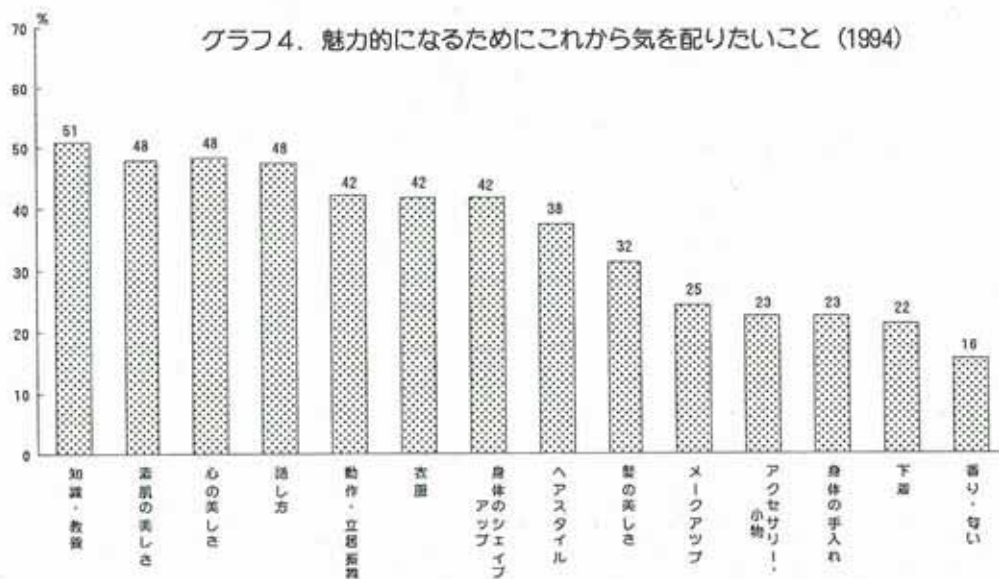


順位は1994年とはほぼ似た傾向を示しているが、さらに3年前との違いを明確にするために、1994年のデータから1991年のデータを引き算した結果をグラフ3に示してみた。



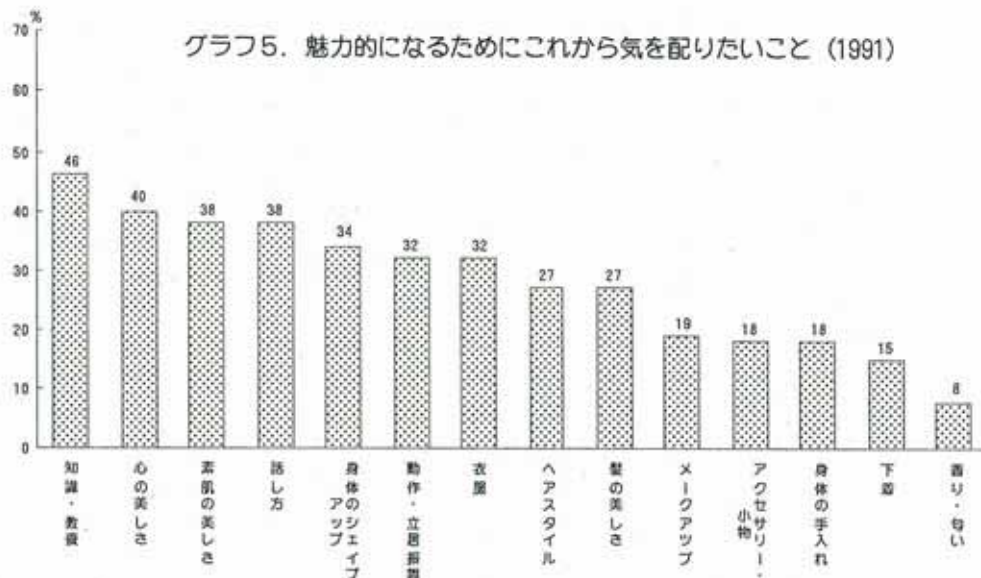
その結果は「心の美しさ」の-3%、「知識・教養」の0%を除いてプラスである。つまり、1994年のほうが全体に支持率が高く、魅力に気を配る人が3年前より増えていることがわかる。気を配る内容は「アクセサリー・小物」「衣服」「ヘアスタイル」「メイクアップ」が10%以上で、具体的で見やすいものが増えていることがわかる。「下着」「香り・匂い」(最下位)のような支持率が低いものでも8%の増で、気配りの範囲が広がっているとも言えよう。

4.1.2. これからの気配り——見えにくく、形になりにくく、時間がかかるものに集中  
「より魅力的になるために、これから気を配りたいと思うこと」という質問の結果は次のグラフである。



結果は、上位は接近しており、第1位が「知識・教養」で51%、第2位が同率で「心の美しさ」「素肌の美しさ」「話し方」の48%、第5位第6位が同率の「動作・立居振舞」「衣服」で42%、となる。「現在、気を配っていること」に比べて、形になりやすく、表面的には見えにくい「知識・教養」「心の美しさ」「話し方」「動作・立居振舞」に支持が集まっている傾向にある。衣食足りて礼節を知るではないが、内面と外面のバランスを求めようとしているとも言える。

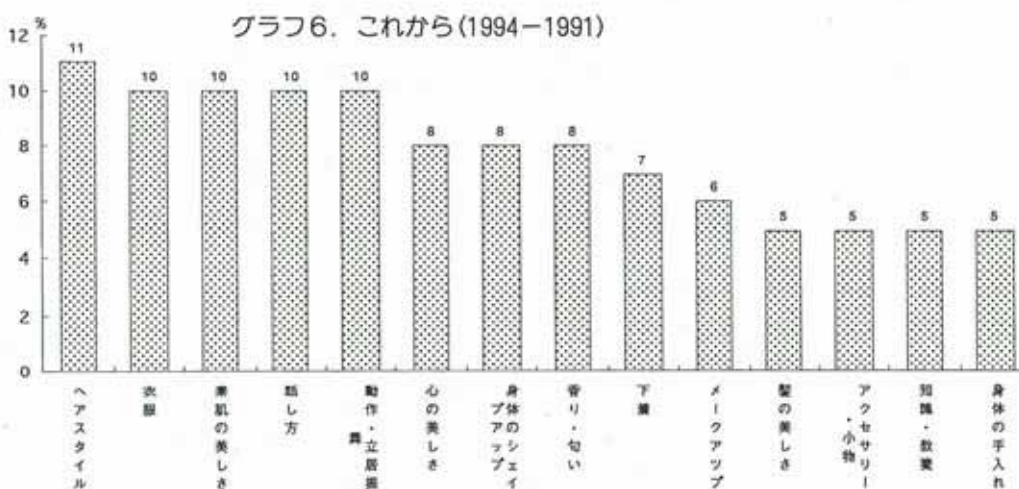
「現在」と同様、「下着」「香り・匂い」は支持率が低く、最下位から一つ前と最下位である。3年前との違いをみるために、3年前の結果をグラフ5. に示した。



全体の順位は「現在、気を配っていること」と同様、1994年とほぼ同じ傾向で、第1位が「知識・教養」46%、およそ2人に1人の割合となる。第2位は「心の美しさ」で40%、第3位は同率で「素肌の美しさ」「話し方」で38%、第5位は「身体のシェイプアップ」で34%、第6位の「動作・立居振舞」で32%、の順となる。

基本的な構造は現在も3年前もほぼ同じで、内面的美しさ、あるいは時間のかかるもの・時間の蓄積がものをいうものに支持が高く、外面的で見てすぐわかるものは比較的低い傾向が見られる。

3年前との違いを明確にするために、1994年のデータから1991年のデータを引き算した結果をグラフ6に示した。

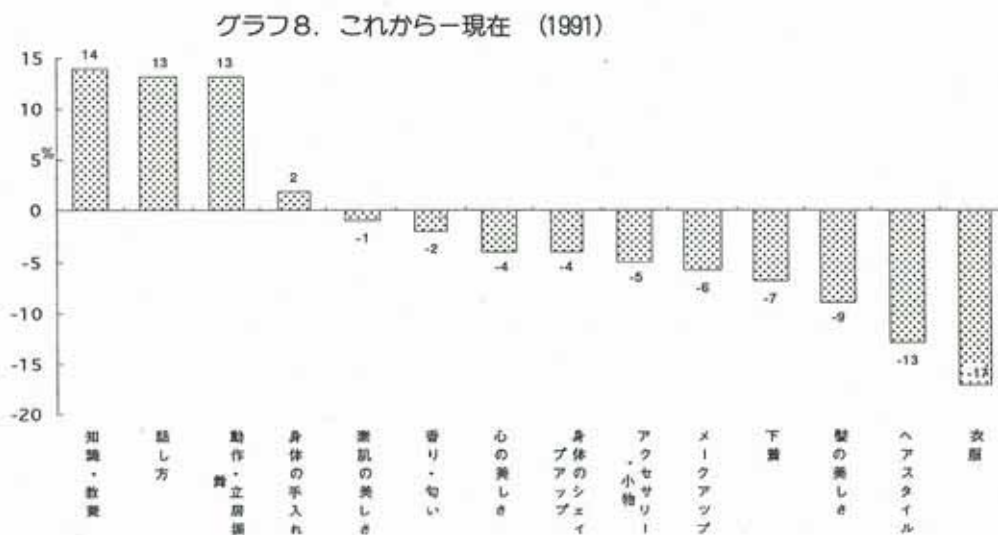
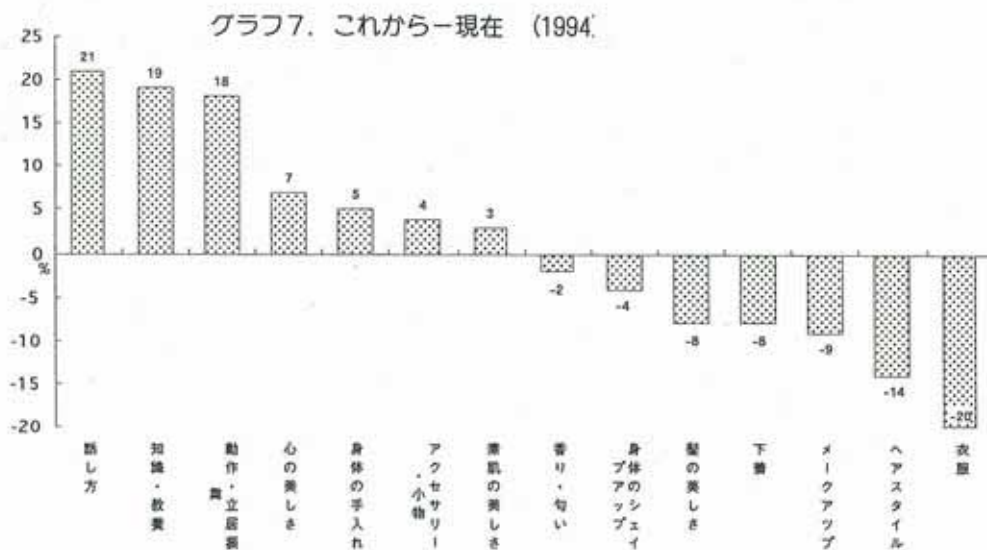


結果は1994年のほうが全体で5%以上支持が高く、魅力を高めるために気を配りたいと思う人が増えていることがわかる。気を配る内容は「ヘアスタイル」「衣服」「素肌の美しさ」「話し方」「動作・

立居振舞」が10%以上で、「ヘアスタイル」「衣服」のように具体的に見えやすいもの、および見えにくくてトレーニングが必要なものの両方で増えていることがわかる。支持の比較的低い「下着」「香り・匂い」(最下位)も8%の増で、中ぐらいの増加になっているものにも注目したい。

#### 4.1.3. 「これから」と「現在」の差にみる意識の違い——現実と理想の違い？

「現在」に対して「これから」の気配りがどう増減するかを見たのが、グラフ7とグラフ8である。1994年も1991年もほぼ傾向を示している。すでに述べたように、「知識・教養」「話し方」「動作・立居振舞」など、時間のかかるもの・時間の蓄積がものをいうもの、あるいはトレーニングが必要なものへの支持率の増加が著しい。その一方で、「衣服」「ヘアスタイル」「髪的美しさ」「メイクアップ」「下着」のような見えるものへの支持が減少している。



## 4.2. 年代別特徴

## 4.2.1. 順位別に見た特徴——各年代で共通性の高い〈現在〉⇔各年代の特徴が出てくる〈これから〉

上位6位までを年齢別に見ると次のようになる。

現在	1位	2位	3位	4位	5位
〔全体〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔素肌の美しさ〕	〔心の美しさ〕	〔髪的美しさ〕
〔16-18歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔髪的美しさ〕	〔心の美しさ〕	〔素肌の美しさ〕
〔19-23歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔アクセサリ-・小物〕	〔髪的美しさ〕	〔素肌の美しさ〕
〔24-29歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔素肌の美しさ〕	〔身体のシェイプアップ〕	〔心の美しさ〕
〔30-39歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔素肌の美しさ〕	〔心の美しさ〕	〔知識・教養〕
〔40-49歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔素肌の美しさ〕	〔髪的美しさ〕	〔メイクアップ〕
〔50-59歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔心の美しさ〕	〔髪的美しさ〕	〔話し方〕
〔60-65歳〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔素肌の美しさ〕	〔髪的美しさ〕	〔素肌の美しさ〕
					〔下着〕

これから	1位	2位	3位	4位	5位
〔全体〕	〔知識・教養〕	〔心の美しさ〕	〔素肌の美しさ〕	〔話し方〕	〔動作・立居振舞〕
〔16-18歳〕	〔知識・教養〕	〔身体のシェイプアップ〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔話し方〕
〔19-23歳〕	〔知識・教養〕	〔素肌の美しさ〕	〔衣服〕	〔ヘアスタイル〕	〔心の美しさ〕
〔24-29歳〕	〔素肌の美しさ〕	〔話し方〕	〔知識・教養〕	〔心の美しさ〕	〔動作・立居振舞〕
〔30-39歳〕	〔知識・教養〕	〔素肌の美しさ〕	〔話し方〕	〔身体のシェイプアップ〕	〔心の美しさ〕
〔40-49歳〕	〔素肌の美しさ〕	〔心の美しさ〕	〔話し方〕	〔知識・教養〕	〔衣服〕
〔50-59歳〕	〔心の美しさ〕	〔衣服〕	〔知識・教養〕	〔素肌の美しさ〕	〔ヘアスタイル〕
〔60-65歳〕	〔衣服〕	〔髪的美しさ〕	〔心の美しさ〕	〔話し方〕	〔素肌の美しさ〕

〈現在〉では1位、2位は共通しながら、3位以下になると、年代差が出てくる。「全体」と比べて「19-23歳」では「アクセサリ-・小物」でおしゃれ心を楽しんでいる様子が窺えるし、「24-29歳」では「身体のシェイプアップ」に関心が高いようだ。「30-39歳」になると、「知識・教養」が、「40-49歳」では「話し方」が登場する。

〈これから〉では、1位からそれぞれの年代の特徴が出ている。「24-29歳」「30-39歳」（「全体」）を除いて、「衣服」が5位以上に出てくる。「60-65歳」では一番高い。また、〈現在〉では1回しか登場しなかった「知識・教養」は「60-65歳」を除く全年代で支持され、「16-18歳」「19-23歳」「30-39歳」では1位になっている。

## 4.2.2. 項目別に見た違い——ライフステージにより決まる気配り

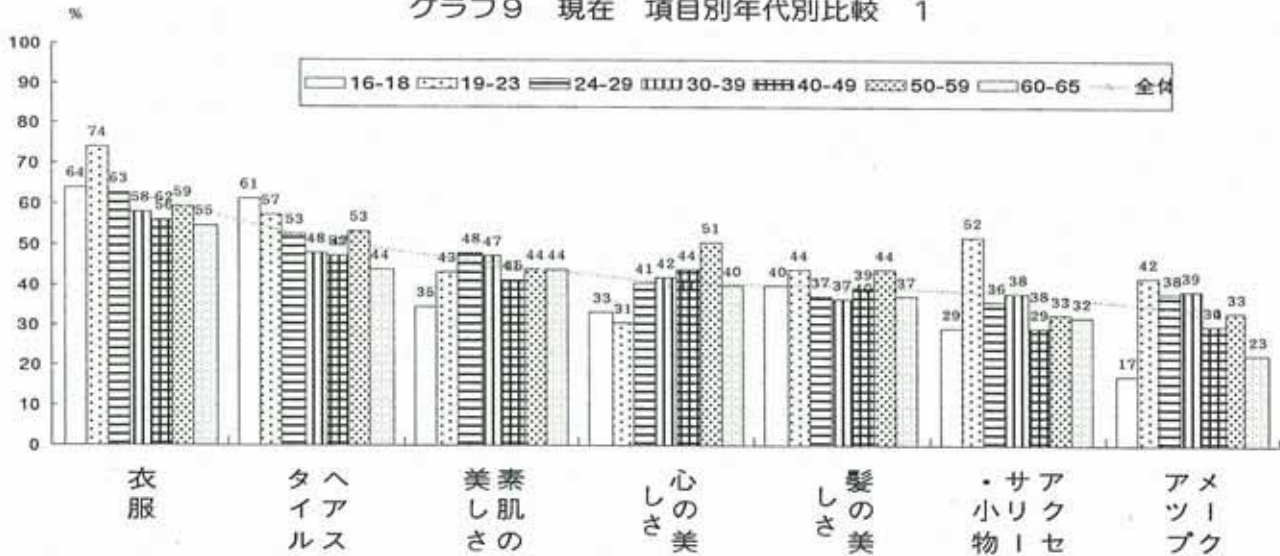
「より魅力的になるために気を配っている」ことについてさらに掘り下げるために、年代別に見てみた。ここではほかの年代に比べて特徴のある項目（平均値で5%以上の差がある）のみ記すことにした。（太字は全年代で一番高い、あるいは一番低い結果を示す）

## 〔16-18歳〕（75人）

〈現在の気配り〉（以下〈現在〉）は、年齢的には高校生に当たり、経済力を含め、ほかの年代と比べると制約されがちであるが、「ヘアスタイル」は全年代で一番高く、平均値と比べて項目は高い順に「身体の手入れ」「香り・匂い」「身体のシェイプアップ」である。

一方、気配りが低いのは「下着」「メイクアップ」「知識・教養」でほかの年齢と比べて極端に低

グラフ9 現在 項目別年代別比較 1



く、「話し方」「動作・立居振舞」「素肌の美しさ」「アクセサリー小物」についても低い結果である。  
 〈これから〉(以下くこれから)は「ヘアスタイル」「メイクアップ」「香り・匂い」がほかの年齢に比べて高く、「衣服」「身体のシェイプアップ」についてはやや高いほうである。逆に低いのは、「素肌の美しさ」「下着」が顕著な値を示している。  
 全体的には、「ヘアスタイル」へのこだわりがたいへん高く、続いて「香り・匂い」で、「メイクアップ」はこれからという結果である。

〔19-23歳〕(学生75人/社会人75人)

この年代は、学生と社会人の両方に聞いており、ここでは平均値でほかの年代と比べている。

〈現在〉はほかの年代と比べると、「衣服」「アクセサリー・小物」「メイクアップ」「髪」の美しさ「香り・匂い」への気配りが一番高く、「ヘアスタイル」にも神経を使っている年代である。外面的なことにたいへん気を配っており、自分の魅力を探しつつ、他人に対してしっかり自分を見せよう、印象付けようとしている様子がうかがえる。

〈これから〉は「ヘアスタイル」「アクセサリー・小物」「香り・匂い」という現在神経を使っていることはもちろん、「知識・教養」「動作・立居振舞」にも気を配りたいと思っている。

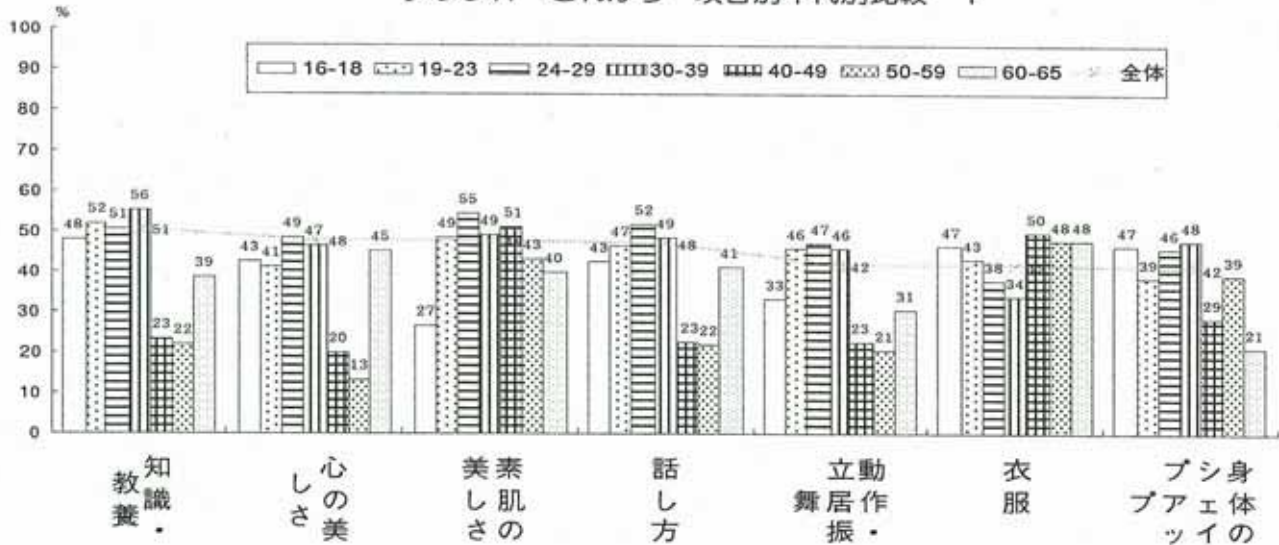
念のため、学生と社会人で大きな違い(10%以上の差)が見られたのは、〈現在〉では差の大きい順に「ヘアスタイル」(27%)「下着」(15%)、〈これから〉では「香り・匂い」(14%)「心の美

グラフ10 現在 項目別年代別比較 2





グラフ11 これから 項目別年代別比較 1



さ」(11%)で、いずれも社会人のほうが高かった。

#### 〔24-29歳〕(未婚75人/既婚75人)

全体の〈現在〉は、ほかの年代と比べると、突出して「身体のシェイプアップ」に神経を使っている傾向が見られる。ほか「香り・匂い」にも気を配っている結果である。

〈これから〉は「動作・立居振舞」「話し方」「素肌の美しさ」「身体の手入れ」に気を配りたいと考えており、これらはほかの年代に比べて高い結果を示している。

未既婚別には、10%以上の差がある項目を中心に見てみよう。〈現在〉は、「身体の手入れ」(20%)「アクセサリ」(16%)「素肌の美しさ」(16%)「知識・教養」(16%)「動作・立居振舞」(14%)「髪の手入れ」(13%)と6項目に及び、全項目で未婚が多い。〈これから〉では「話し方」(18%)「動作・立居振舞」(15%)「知識・教養」(13%)「衣服」(12%)「髪の手入れ」(10%)の5項目で未婚が多く、逆に「メイクアップ」(15%)「身体のシェイプアップ」(12%)では既婚が多い結果である。

#### 〔30-39歳〕(未婚150人/既婚150人)

全体の〈現在〉は、「知識・教養」に全年代で一番高い回答率をしている。「メイクアップ」「動作・立居振舞」にもほかの年代より比較的気を配っている。

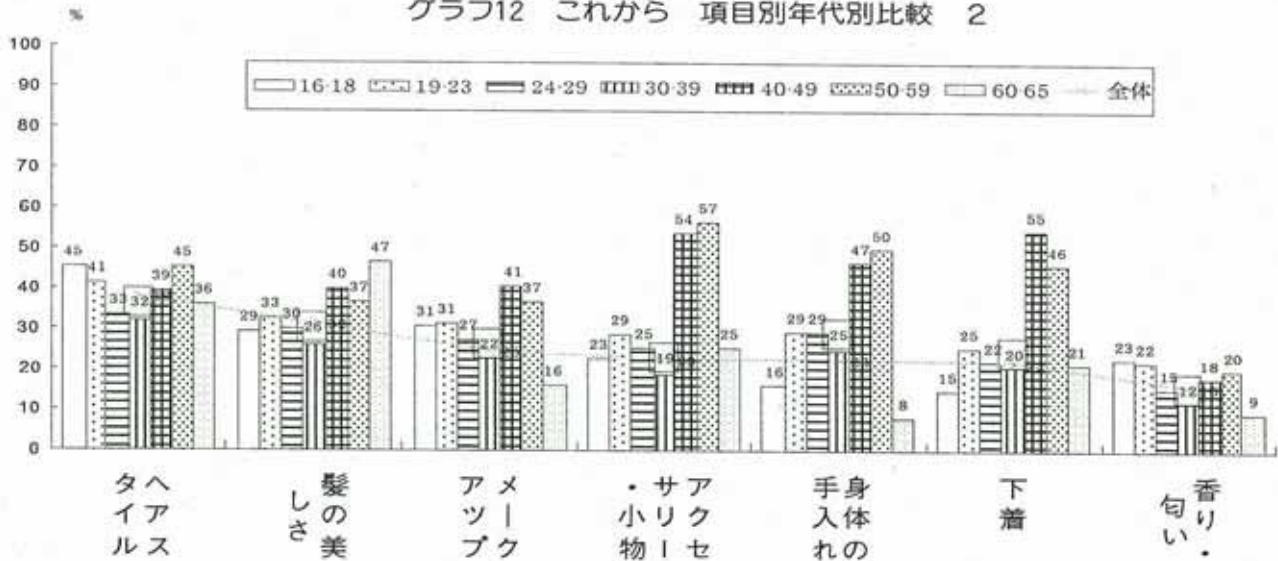
〈これから〉に対しては、「知識・教養」「身体のシェイプアップ」をほかの年代に比べて一番高く支持しているほか、低いほうで「衣服」「ヘアスタイル」「髪の手入れ」に特徴的が見られた。特に「ヘアスタイル」支持率は全年代と比較して一番低い結果であった。

未既婚別に、前述と同じように差が明確なものを見ると次のようになる。〈現在〉は14項目中、9項目で10%以上の違いがある。「24-29歳」と同様、未婚者がこの9項目で高くなる。大きい順に見ると、「香り・匂い」(22%)「動作・立居振舞」(19%)「アクセサリ・小物」(17%)「髪の手入れ」(16%)「知識・教養」(16%)「身体のシェイプアップ」(15%)「下着」(14%)「身体の手入れ」(13%)「素肌の美しさ」(11%)となる。

〈これから〉では1項目のみで差が見られた。それは「ヘアスタイル」で10%既婚者が高い結果であった。すでに述べたように「30-39歳」の「ヘアスタイル」支持率は平均に比べて低く、全年代と比較して一番低い結果であり、したがって「30-39歳」未婚者が一番気配りをしていない結果となる。

以上のように、未既婚で〈現在〉の違いが明確に出ていた。

グラフ12 これから 項目別年代別比較 2



#### 「40-49歳」(150人)

〈これから〉を見ると、「24-29歳」と同様「素肌の美しさ」に全年代で一番重点を置きたいと思っており、「心の美しさ」や「衣服」「香り・匂い」にも気を配りたいと考えている年代である。

#### 「50-59歳」(150人)

〈現在〉は、前後の年代と比べると、「衣服」「ヘアスタイル」「髪的美しさ」「心の美しさ」「話し方」にたいへん気を配っていることがわかる。「アクセサリー・小物」「メイクアップ」「知識・教養」にも無関心ではない。

〈これから〉について、全年代で一番高く支持しているのが、「心の美しさ」「衣服」「ヘアスタイル」である。髪の毛が細くなったり、ボリューム感が乏しくなる年代、「髪的美しさ」にも気を抜いていないのが読み取れる結果である。

#### 「60-65歳」(75人)

この年代は全体的にどの項目でも支持率が低いが、〈現在〉では「下着」に関して一番高い回答をしている。〈これから〉については、「髪的美しさ」がほかの年代に比べて一段と高い。「衣服」にも気を抜いていない結果である。

## 5. 考察

### 5.1. 〈現在〉と〈これから〉の気配りズレ

—— 理想は内面と外面のバランスが取れた魅力？

〈現在〉の気配りの結果は、多い順に「衣服」「ヘアスタイル」「素肌の美しさ」「心の美しさ」「髪  
の美しさ」となり、全体としては3年前の結果とあまり変わらないデータである。ファッションとし  
ての衣服、ヘアスタイルを含めた髪、素肌という外面的な要素と、内面としての心が出てきている。  
全体としては、外面的な側面に気配りを多くしていることになる。

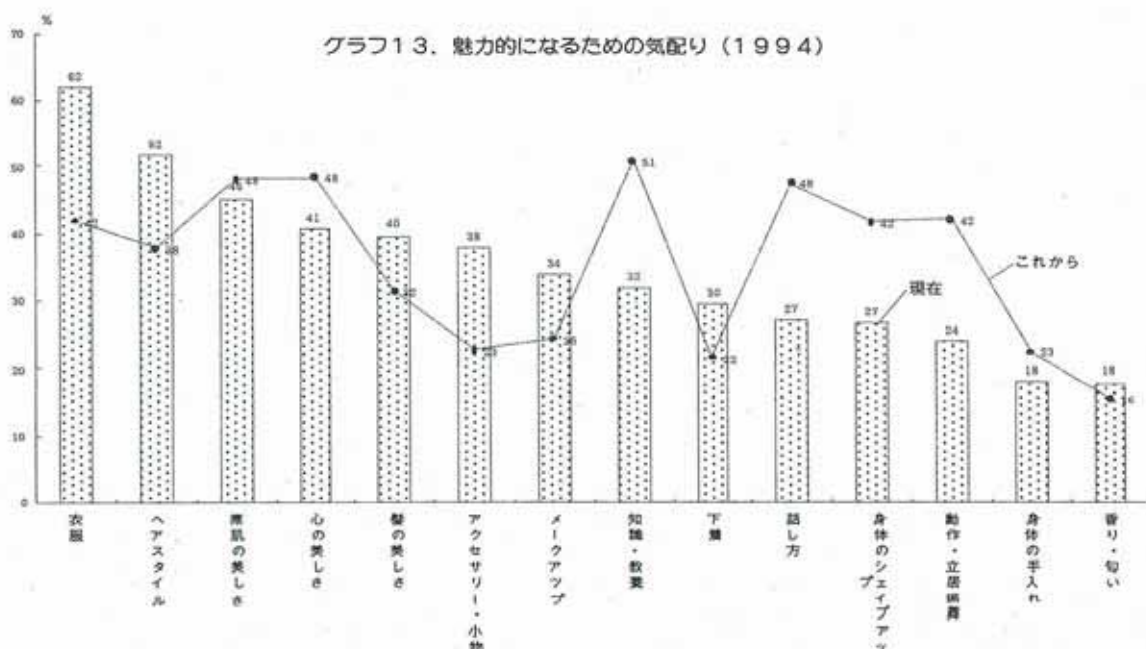
逆に気配りがされていない項目の一番は、「香り・匂い」であり、「身体の手入れ」「動作・立居振  
舞」「身体のシェイプアップ」と続く。この順位は3年前と変わらない。「香り・匂い」を除くほかの  
3項目は結果を得るまでに時間が必要とされる項目でもある。

3年前との順位の違いを詳細に見ると、「アクセサリー・小物」「メイクアップ」が6位、7位に上  
がっていることを指摘できる。簡単に手軽に身につけたりはずせたり、結果が見てわかりやすいもの  
がより指示されているといえる。

支持率の絶対値の差を比較したグラフ3. に示したように、一部を除いて3年前より気配りの率が  
全体で高くなっている点は注目に値する。魅力に対する気配りが全体でより高まっていることを示し  
ているからである。特に、「アクセサリー・小物」「衣服」「ヘアスタイル」「メイクアップ」につい  
ては10%以上の増加を見ており、直接的に手っ取り早く装えるもの＝結果がすぐに見えてわかるもの  
がたいへん増加している。

〈これから〉の気配りの結果は、〈現在〉とかなり異なる結果であった。上位は「知識・教養」「心  
の美しさ」「素肌の美しさ」「話し方」「動作・立居振舞」「衣服」であり、〈現在〉に比べて、「知識・  
教養」「話し方」「動作・立居振舞」のように、形になりにくくて表面的には見えにくい、言い方を変え  
ると、身につける、あるいは結果を得るために時間がかかる、およびトレーニングが必要な項目に支  
持が集まっている傾向にある。現在はすぐに使えるものを使い、時間をかけるものはこれから身につ  
けたい、ということになるのか。最終的には衣食足りて礼節を知るではないが、内面と外面のバラン  
スを求めようとしているとも言える。

支持率の低い項目は、〈現在〉と同様、「下着」「香り・匂い」で、それぞれ最下位から一つ前と最下  
位である。順位では低いですが、3年前と比べて8%の増加になっている点を考えると、〈現在〉のみならず、〈これから〉でも注目したい。



3年前と比べると、結果は1994年のほうが全体で5%以上支持が高く、〈現在〉と以上に魅力を高めるために気を配りたいと思う人が増えていることがわかる。10%以上増えている項目は、「ヘアスタイル」「素肌の美しさ」「衣服」のように具体的に見えやすいものと、「話し方」「動作・立居振舞」のようなソフトウェアに当たるものとの増加率が高い。

あえて、グラフ7、グラフ8.のように、〈これから〉から〈現在〉を引算してみたが、気配りの違いが明確に出た。「衣服」をはじめ「ヘアスタイル」「メイクアップ」「下着」「髪の手入れ」は現状で十分、「話し方」「知識・教養」「動作・立居振舞」については現状では不満足でこれから充実させたい、という結果である。しかし3年前の結果も同様であることから、常にこの傾向が出てくる可能性が高く、将来的にこの不満な点を解決されるのかどうか疑問がでてくる。〈現在〉を現実、〈これから〉を理想と置き換えてみると、さらにはっきりしてくる。2回の調査だけでは結論を出すまでは至らないが、以上の3項目は、こうありたいという希望と理想が入り交じった、満足されることのない定番と言えそうだ。

## 5.2. 年代、ライフステージが違くと、気配りが異なる———気配りの多様化

年代別に見た〈現在〉で、1位、2位が全年代に共通している点は興味深い。誰でもが「魅力的になるために気を配っている」のは「衣服」と「ヘアスタイル」となる。年代差が出てくる3位以下では、各年代の特徴が出てくる。

〈現在〉では、「ヘアスタイル」にこだわる「16-18歳」、「19-23歳」では「アクセサリ・小物」でおしゃれ心を楽しんでいる様子が窺える。「24-29歳」では20代前半の若さは保てないと「身体のシェイプアップ」をしてステキなプロポーションを求めようとしているようだ。「30-39歳」になると、子供の教育のためにも「知識・教養」が、「40-49歳」以降では白髪や抜け毛から「髪の手入れ」が求められようし、そのような結果が出ている。

〈これから〉では、1位の項目からそれぞれの年代の特徴が出ている。〈現在〉以上に、これから求めることが異なることを示している。

項目別に分析してみると、その特徴がさらに明確に出ている。結果の項で詳述しているが、回答された項目から、全体的には各年代で抱えるであろう不満や欲求が今まで以上に見えてくる。

今回の結果で特に、興味深かったのは、「24-29歳」「30-39歳」での未既婚による気配りの違いである。〈現在〉に関しては、「24-29歳」では、14項目中6項目で未既婚が高く、魅力作りへの積極的な姿勢を窺い知ることができる。「30-39歳」では、さらにその傾向が強くなり、14項目中、9項目で未既婚が高い傾向を示している。〈これから〉に関しては、〈現在〉ほどではないにしても、未既婚ではっきりとした気配りの違いが出ていることは、興味深い。

以上、調査結果から、女性たちは「自分の魅力づくりのためにそれぞれの年齢とライフステージに合わせた気配りをしており、気配りする人の割合は増加傾向にある。現在に対する気配りは現実的にすぐ実現可能なことに重点をおき、将来的には身につけるためには時間が要求されることもやってみよう」と考えていることがわかった。将来的なことをどれだけ実現しうるかには疑問は残るものの、外面的要素と内面的要素のバランスの取れた魅力づくりを求めていることは確かなようだ。